単品在庫明細　更新処理

単品在庫明細について
・日付別に単品の
前日在庫数量・入荷数量・出荷数量・廃棄数量・当日在庫数量を表わす。
過去日付けの在庫を管理する。

・在庫日付、ref_単品ID、ref_入荷ID、ref_行番号毎にデータを持つ
入荷明細をもとに、在庫日付を付与して作成する。
当日在庫数量が0になるまで、翌日に繰越される。
したがって、同じref_単品ID、ref_入荷ID、ref_行番号のデータが、複数の在庫日付に
またがって存在することになる。
理由は、入荷ID毎に、品質維持期限が設定され期限がきた単品は使用できなくなり、
廃棄されるため。

・更新タイミング
業務終了後のバッチ処理（当日の入荷・出荷データを使用して更新する）

在庫更新処理　バッチ起動

起動処理
1．バッチ処理キーの作成　前処理1
単品在庫明細・出荷明細・入荷明細から単品IDを抽出する。
抽出条件：単品在庫明細・出荷明細・入荷明細全件
抽出項目：DISTINCT 単品ID

2．バッチ処理キーの作成　前処理2
単品在庫明細から最大在庫日付を取得する。

3．バッチ処理キーの作成
バッチ処理キー作成用のRuby関数をコールする。
上記1・2の出力データを使用して、単品ID・在庫抽出日・在庫日付の
バッチ用キーを作成する。

4．在庫更新バッチを起動する。

在庫更新処理　バッチ

1．バッチ処理キーの取得
単品ID・在庫抽出日・在庫日付を1件取得し、バッチ用リクエストJSONのバッチ用キーにセットする。
この処理はフレームワークが自動で行う。

2．単品在庫計算用ワークをクリア（削除）する
削除条件：ref_単品ID　＝　単品ID（バッチ処理キー）

3．単品在庫明細から繰越データを抽出し、単品在庫計算用ワークへ出力する
抽出条件：単品ID　＝　単品ID（バッチ処理キー）
　AND　在庫日付　＝　在庫抽出日（バッチ処理キー）
出力編集：在庫日付　　←　在庫日付（バッチ処理キー）
　　前日在庫数量　←　当日在庫数量（単品在庫明細）
　　ref_単品ID・ref_入荷ID・ref_行番号・当日在庫数量・品質維持期限は単品在庫明細の項目を設定する。
　　入荷数量・出荷数量・廃棄数量は0を設定する。

4．入荷明細を抽出し、単品在庫計算用ワークへ出力する
抽出条件：ref_単品ID　＝　単品ID（バッチ処理キー）
　AND　入荷日付　＝　在庫日付（バッチ処理キー）
出力編集：在庫日付　←　在庫日付（バッチ処理キー）
　　入荷数量　←　入荷数量（入荷明細）
　　当日在庫数量　←　入荷数量（入荷明細）
　　ref_単品ID・ref_入荷ID・ref_行番号・当品質維持期限は入荷明細（と入荷ヘッダー）の項目を設定する
　　前日在庫数量・出荷数量・廃棄数量は0を設定する。

5．出荷明細を抽出し、出荷数量をサマリーする（同時に単品マスターから品質維持可能日数を取得しておく）
抽出条件：ref_単品ID　＝　単品ID（バッチ処理キー）
　AND　出荷日付　＝　在庫日付（バッチ処理キー）

注：品質維持可能日数は、繰越データ・入庫データが無く、出荷データのみが発生した時の為に取得しておく。
　この時、出荷データから、単品在庫計算用ワークを作成する必要がある。

6．単品在庫計算用ワークから、繰越データと入荷データを抽出する
抽出条件：ref_単品ID　＝　単品ID（バッチ処理キー）
　AND　在庫日付　＝　在庫日付（バッチ処理キー）
ソート順：ref_入荷ID, ref_行番号

7．Ruby　在庫引当処理関数を呼び出し
　処理1：サマリー出荷数量　＞　当日在庫数量　のとき
　　当日出荷数量　←　当日在庫数量
　　当日在庫数量　←　0
　　単品在庫計算用ワークを更新（キー：在庫日付・単品ID・ref_入荷ID・ref_行番号）

　　サマリー出荷数量　＝　サマリー集荷数量　－　当日出荷数量
　　処理1へ（次の行を処理する）
　　ただし、最終行の時は、処理1ではなく、処理2を行う

　処理2：サマリー出荷数量　＜＝　当日在庫数量
　　当日出荷数量　←　サマリー出荷数量
　　当日在庫数量　←　当日在庫数量　－　サマリー出荷数量
　　単品在庫計算用ワークを更新（キー：在庫日付・単品ID・ref_入荷ID・ref_行番号）
　　Rubyの処理終わり

8．廃棄処理（単品在庫計算用ワークを下記条件で更新）
更新条件：ref_単品ID　　＝　単品ID（バッチキー）
　AND　品質維持期限　<=　在庫日付（バッチ処理キー）
　AND　当日在庫数量　>0
更新編集：廃棄数量　　←　当日在庫数量
　　当日在庫数量　←　0

9．単品在庫明細削除処理（この削除処理は、同じ日に在庫更新バッチを二度実行された時の為）
削除キー：ref_単品ID　＝　単品ID（バッチキー）
　AND　品質維持期限　<=　在庫日付（バッチ処理キー）

10．単品在庫計算用ワークを抽出し、単品在庫明細へ追加する
抽出条件：ref_単品ID　＝　単品ID（バッチ処理キー）
　AND　入荷日付　＝　在庫日付（バッチ処理キー）